

---

# 黒羽

黒暁

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

黒羽

### 【Nコード】

N0287F

### 【作者名】

黒暁

### 【あらすじ】

吸血鬼のお話し。コメディです。一応、ファンタジーにしています。

今宵、君の血をいただこう。

俺は、吸血鬼。でも血がなくても生きていける。  
学校にも通っている。

トマトジュースはかせない。  
毎日飲まないと命に関わる。

変な吸血鬼といえば変だが、俺にとってはそれが普通。

誰も俺を吸血鬼とは疑わない。

けど、たまには人間の血もいただきたくなる。

そう、綺麗な女を見た時なんかは。

・ふわふわのロングウェーブの髪型の女。

俺の横を通り過ぎた。

思わずゴクリと唾を飲む。

いい香りがした。

決めた今夜は君の血をいただく。  
大丈夫死にはしない。  
少し血をいただくだけ。  
献血したと思えばいい。

月が照らしだすビルの屋上に立つ。  
夜中の2時。

バサツと黒い翼を広げる。  
普段は、もちろん翼は、消している。

月に向かって飛び立つ。  
獲物にめがけて一直線。

マンションのベランダにゆっくりと降り立つ。

パチンと指を鳴らすと窓の鍵が開く。

吸血鬼なのに便利な能力も備わっている。

よく眠っているようだ。

ニヤリと不適に笑い、部屋の中に入っていく。

不法侵入にも関わらず

「お邪魔します。」と小声で言ってしまう。

部屋の中は、綺麗に片づけられている。とても清潔感あふれる部屋だ。

ベッドに眠っている女の人を見て、何故だか愛しく思ってしまう。

それでは、遠慮なく

「いただきます。」

優しく口づけをするように首筋に近づく。

「うつ…。」

思わず飛び退く。

こ、こいつ…。

俺は、獲物を恨めしそうに見て、窓から飛び出した。

俺は、女の血をいただく事が出来なかった。

何故なら、女の口から大の苦手なにんくの臭いがしたのだ。

俺は、悲しい気持ちで大空に飛び立つ。

綺麗な女の人でもにんくを食べるようだ。

今日の晩飯は、餃子か？にんく入りのラーメンか？  
だーっ！そんな事どうでもいい！

俺は、吸血鬼。

普通の人間とたいした変わらない生活を送れる。

だが、にんくは大の苦手。そこはやっぱり吸血鬼。

トマトジュースを買って我慢しよう。

f i n

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0287f/>

---

黒羽

2011年1月25日07時50分発行